

令和5年度 第2回下野市健康づくり推進協議会 会議録

日 時 令和6年2月8日 午後2時00分～午後4時00分

場 所 保健福祉センター ゆうゆう館 大ホール

出席委員 春山早苗委員、黒田裕之委員、鶴見利夫委員、上野文夫委員、原口由紀子委員、小島恒夫委員、木村千里委員、堀田富士江委員、中村剛史委員（代理出席：関口昌代氏）、長塚章委員、金田欣明委員、浅香浩幸委員

欠席委員 村田光延委員、金子ひとみ委員、齋藤好子委員、菅井貞雄委員、小林亜友子委員、宇賀地恵子委員、荒川真理子委員

事務局 福田健康福祉部長
川嶋健康増進課長
感染症対策グループ：江連課長補佐（保健師）
母子保健グループ：横田主幹（保健師）
成人保健グループ：大栗主査、奥村主査（保健師）、石川主査（保健師）、山崎主事（管理栄養士）、佐藤主事（保健師）

配布資料 会議次第
下野市健康づくり推進協議会委員名簿
下野市健康づくり推進協議会設置要綱
資料1 「健康しもつけ21プラン」の重点目標の評価について
資料2 健康実態調査の結果からみえた下野市の地区別生活習慣の実態について
資料3 「健康しもつけ21プラン」の取り組み状況について
資料4-1 「健康しもつけ21プラン」の評価方法について 評価記入例
資料4-2 「健康しもつけ21プラン」地域団体の取り組み《令和5年度評価表》
資料4-3 「健康しもつけ21プラン」地域団体の取り組み《令和5年度評価表》
新規事業
参考資料 ラジオ体操普及啓発について
追加資料 健康福祉部組織再編計画について

1. 開会 （開会・進行：川嶋課長）

2. あいさつ 春山会長

3. 議事

【質疑】

（事務局） 資料1に基づき説明

（春山会長） ご報告ありがとうございました。皆様からご質問等ございませんか。グループ別評価を見ますと令和4年度調査ということで、コロナが増えてきた時期であり、その影響があったのではないかと思います。また、どのような背景があったのかは分かりませんが、歯科保健や糖尿病、サロンの数がすごく増えています。これは地域のつながりの醸成というあたりの評価がある一方、コロナで、在宅ワークになるなど、生活習慣の乱れが関係しているのではないかと思います。栄養・食生活、それから身体活動の評価が低いということ、循環器疾患の評価が低くなっています。また全体的に、少し、女性の方の評価が低いという印象も受けました。感想等、皆様いかがでしょうか。

（黒田委員） 歯科の方は、悪化していないので、まずよかったと思っています。

（堀田委員） 市民の方たちは、自分が健康であると思う割合は、本当に高い数値です。私の住んでいる地域の高齢者の方々、皆さん元気のある方で、ラジオ体操をはじめ、ゲートボールやウォーキングをされている方が多く、結果を見ると、自分の健康づくりをそれぞれされていると思う反面、食生活に関しては、まだまだ数値が低いと思いました。自分もこれから気を付けようと思いました。

- (春山会長) ありがとうございます。サロンの数が増えてきましたが、サロンと健康づくりの関係についていかがですか。
- (金田委員) サロンは、59か所となっています。その後も、少し増えています。地域で近くにあるということは、そこで予防が引き続き出来ればと思っています。
- (春山会長) 介護予防的などから健康づくり、そこに行ったら横のつながりも作っていくという両方も考えられると思います。災害の時も地域のつながりがとても大切ですので、健康づくりからつながりを作っていく、あるいは、つながりがある中で、健康づくりを行っていくことはやはり大切なことです。下野市も脳卒中で亡くなられる方が多いので、循環器疾患の評価が「D」となっていますので少し考えていかなければいけないところです。今回、データが得られなかったため評価されていませんが、脳卒中の初期段階の症状の全問正解した率の割合の増加についてです。栃木県は症状が発症してから救急車を呼ぶ、受診するまでの期間が長いという結果があります。一つは、症状の理解が低いことと、それから隣近所に迷惑が掛かるとか、大げさにしたくないなど、救急車を呼ぶことをためらっているというようなことが考えられます。まずは、症状を理解してもらうことが必要となります。
- (事務局) 資料2に基づき説明
- (春山会長) ご報告ありがとうございます。確認ですが、このデータは、資料1の表のデータを地区別等で、再分析したということでしょうか。男性は在宅ワークが増えてその時間を運動に向けた可能性が高いのではないかと、女性は、もしかしたら配偶者が家にいることでストレスが増える様なことが推測されます。今、地区別に評価いただき分析した結果を報告していただきました。欠席された委員の方からもご意見ご感想をいただいていますので、事務局の方からご報告をお願いいたします。
- (事務局) 本日、欠席の小山地区医師会の村田委員より、今日欠席になってしまい申し訳ありません、皆さんによりしくお伝えくださいということです。ご意見をいただきましたのでご報告させていただきます。今回説明した資料について、地区別生活習慣の実態調査は、とても素晴らしい分析である。市として全体の課題ということではなく、やはり地区を見たときに、いろいろな地域の差というものがこのように見えてきます。今後、地区別の健康づくりをどのようにアプローチしていくのかをみんなで考えていきたいということでした。村田委員ですが色々な委員をされております。高齢福祉の地域包括ケアシステムは、高齢者の方が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくことです。高齢者における計画の中でも、地区別の課題がそれぞれあり、今回の健康づくりの地区別の課題と、高齢における地区の課題を共有しながら、高齢福祉分野でも一緒に取り組むことが出来るとより良いと思うとのことのご意見でした。
- (春山会長) ありがとうございます。ご質問等ございますか。健康推進員協議会、上野委員いかがですか。
- (上野委員) データは相当、内容が充実していると思います。特に意見はありません。
- (春山会長) ありがとうございます。県南健康福祉センターの関口委員はいかがでしょう。
- (関口委員) 皆様の方から、意見がございました通り、地区別それから年代別ライフステージ別の課題を見て、それに対しての細やかな計画を立てているということは本当に重要なことです。今回のご報告 فقطですと、回答者の年齢や地域全体での回答者や背景の部分が少し見えづらく感じます。この後、年齢調整をかけて評価をしてくださるということで、その結果を楽しみにしたいと思います。
- (春山会長) 回収数「892」ということなので、地区に分け、さらに年代別に分けると、かなり人数に差があったりするのではないかと考えられます。その分析は大切なことだと思います。
- (上野委員) 健康推進員の方は、各地区におりますので健康推進員に個別のデータをお示しして、それを重点的に活動していくといいと思います。

- (春山会長) とても重要なお意見だと思います。やはり地区の結果は、その地区のキーになる方と共有いただき背景要因など、より現実的にご意見いただけたらと思います。この結果は重要ですが、結果だけだとアプローチ方法が考えられないので、上野委員のご意見がとても重要だと思います。木村委員、住民代表として何かございますか。
- (木村委員) 公募委員の木村です。事務局の方でこれだけの資料を作成していただいたことに感謝申し上げます。一市民としてこの結果を見たときに、例えば、結果2の地区別生活習慣の実態 A地区③運動習慣定着のところ、特に50代男性が12.5%で低く、今後、事務局で統計の解析をされていくと思います。おそらく50代の男性の差というのは、やはり「勤めの環境」が表れているのではないかと思います。そのため事実としては、この数値を出すのは良いと思いますが、ここに強調して、12.5%だから、個々の地区に出向いて、「運動してくださいね」という解釈にはもっていかない方がいいと思います。
- (春山会長) ありがとうございます。20歳から69歳までということで、生活背景がそれぞれ違ってきます。今、木村委員からお話がありましたこと、国のデータの的にも、40代・50代で運動実施率が悪いのではないかと思います。そのような国のデータと比較して、アプローチ方法を考えていくことが大切だと思います。
- (事務局) 資料3に基づき説明
- (春山会長) 行政の取り組み状況についてはよろしいでしょうか。
続きまして各団体の取り組みを黒田委員からお願いします。
- (黒田委員) 歯科医師会としては、歯科衛生士会と一緒に、歯周疾患検診のPR、かかりつけ歯科医の必要性の普及啓発、食後の歯磨きの必要性、タバコが及ぼす影響について、歯周病と歯周疾患について、口腔がん検診も実施しています。また、実施にむけて行政と一緒に啓発活動を行っております。
これからは、オーラルフレイルの問題もあり、これはまた次なる課題かと思っています。
- (春山会長) 色々な取り組みが計画されているのかと思います。続きまして、民生委員児童委員協議会の鶴見委員お願いいたします。
- (鶴見委員) 下野市民児協として、「健康しもつけ21プラン」を念頭に入れて組織的に取り組むことはできませんでした。しかし、市全体の民児協の会議が年2回105名、その他に地区別民児協において、石橋民児協が38名、国分寺民児協が30名程、南河内民児協が30名程、それぞれの民児協が、月1回の定例会で全員が集まり、様々な活動や行政からの報告を聞く機会があります。その時に健康増進課の職員から健康に関する話や「下野はここがすごいぞ」といった一般的な市の健康づくりの目標や取り組みについて、説明をしていただきました。民生委員の日頃の活動である地域の見守りの際に、その時に得た知識と必要性を、それぞれの民生委員の自覚に任せて活動しています。組織的な活動には至っていません。
- (春山会長) 組織全体としての活動でなくても今お話があったように、下野市の健康の課題をそれぞれの民生委員等にお任せすることも重要な取り組みだと思います。健康推進員協議会の上野委員、お願いします。

- (上野委員) 健康推進員協議会の事務局が健康増進課なので、事務局ですべて把握できていると思います。しかし、21プランに沿った活動を各々がそれぞれの時期に実施しています。私はこれを基に、毎週水曜日に烏ヶ森コミュニティセンターを借りて、カラセン教室を開いています。ここで地域の皆さんを集めて、毎週、健康的な話、それからラジオ体操を含めた各種運動、プラス脳トレ、レクリエーションや地域にまつわる昔話、あるいはテレビで話していた話題、そういったものを取り入れて飽きないような内容で実施しています。加えて特別企画として、先日は、「どじょうすくい」の皆さんに来ていただきました。その前は、音楽・工作、そのようなことを行い、地域の皆さんに活動を通じて、しもつけ21プランの内容について周知しているところです。参加者は年間延べ500人くらいの規模で活動を行っています。その方たちにアンケートを取っていただければもっと良い結果が出たのではないかと思います。
- その他に、市民の皆様を対象に50人位を集めて、地元の名所や史跡等を歩いていきます。4月14日に天平の丘公園の花まつりに併せて、ゆうゆう館から天平の丘公園に向かってウォーキングをして健康増進を図る取り組みをする予定です。今回で7回目となり継続しています。
- (春山会長) 地道な継続した地域に根差した活動は重要だと思いますので、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。それでは石橋商工会の原口委員、お願いします。
- (原口委員) 本年度は、「花火大会」、「しもつけサマーフェスティバル」、「にぎわい祭り」が開催でき、多くの方に来ていただいて感謝しております。事務局と役員さんの人数が少ない中で、イベントを行っているので、来ていただいたお客様の人数も多く、こなしていくことが精一杯という現状です。イベントの中で取り組みの方を皆さんにお知らせすることが出来ないため、窓口にパンフレットを少し置かせていただくという形でしか参加はできていません。色々なことが出来ればいいと思うのですが、やはり人数が少ないので、どうしてもこなすことで精いっぱいになってしまい何か良い方法があればお手伝いできると思います。
- (春山会長) 窓口チラシを置いていただくことも重要であると思います。一見、健康と接点があるわけではないですが、イベントの機会を何かに活用できるよう市の方と考えることもできると思います。
- こども福祉課長の浅香委員、何かありますか。
- (浅香委員) こども福祉課としては、関係するかはわかりませんが、保育園や児童館などを所管しています。そのような場所で、未就学の小さい子ども達の育ちをサポートしています。保育園などでは、食育を積極的に行っております。なかなか昔のように自分たちで野菜を育てたり、自分たちで調理したりが、子どもの安全というところで、出来なくなっているところもあります。現場では絵本を使ったり、マナーを教えたりと、残さず食べる、バランスよく食べるというような食育などを進めているようです。また、健康づくりという観点では、保育の現場では、子ども達の運動不足というのを実感しているようです。遊具を使つての遊びは安全面を十分に配慮しているのですが、なかなか難しい時代になって来ています。遊びの中で遊びを通じた体力づくりを現場の保育士達は心掛けているということを聞いています。
- (春山会長) 現状をお話いただきありがとうございました。下野市で少し肥満が多いという話があったかと思いますが、安全を守りながら、肥満予防のためにどのようにしていったらよいか、教育しながら進めていければいいと思いました。市民課長の長塚委員、いかがでしょうか。
- (長塚委員) 市民課は、国民健康保険、後期高齢者医療の主管課です。事業としては、特定健診や特定保健指導、歯周疾患検診など、健康増進課と連携を取りながら事業を進めております。特定健診の受診率というのは、県内でもトップクラスであり、令和4年度は50.1%です。しかしその後の異常値が出た後の保健指導の実施率が24.7%で、県内でもかなり下の方の順位になっております。この部分に力を入れていかなければなりません。実施方法について検討しているところですが、もし皆さんの周りで保健指導の通知が届いたという方がおりましたら、出来るだけ指導の方を受けるように勧めていただければ助かります。

- (春山会長) 重要な点をお話いただきありがとうございました。特定健診の場合、健診後はどこの自治体も実施率というのは高くない現状があります。少し下野市は低めだということでした。保健指導は年代等にも寄りますがICTを活用するなど以前と同じように実施しているのでは実施率はなかなか上がらないということがあると思います。今までの話の中で、市民発信発祥と言っていいラジオ体操、市の方も力を入れられ、実施場所が増えてきていると思います。小島委員、いかがでしょうか。
- (小島委員) 今年度、健康増進課でかなり積極的に動いていただきました。本日もラジオ体操に関する資料がたくさんありますが、途中までの説明となってしまった、一番後ろの「NPO法人全国ラジオ体操連盟」の資料について追加説明します。下野市でラジオ体操を実施しているところが7か所、これまで私どもの大松山公園1か所だけでした。ここ1年健康増進課が前向きに対応してくれたので、7か所登録できるようになりました。これまで野木町さんが6か所でした。トップになったということで、これは素晴らしいことだと思っています。
- 全国を見ますと、北海道の実施数が多いです、栃木県全体では、23件しかない中で下野市だけ7件、さらに増えそうということです。実は昨日、せっかく市民がこのようなことを実施しているので、まず市役所で市役所職員の方の健康増進も含め、市役所でラジオ体操を実施すべきだろうと進言してきました。出来るならば自治医科大学の看護学生さんにもご協力いただき、ぜひ取り入れていただければと考えております。自治医科大学というシンボリックなものが下野市にはあるわけですから、健康増進に非常に意欲を持っている6万都市だということをもっと前面に出したほうがいいのではないのでしょうか。皆さんご存じのように高齢化率はどんどん上がっています。後何十年間は上がります。下野市も26.5%、栃木県全体で30%もあります。先ほどの調査で69歳までの調査とあったのですが、人生100年時代70歳までの調査でいいのだろうかとは私と思いました。ラジオ体操はお金のかからない、本人がやりたいということであれば誰でもできるものですから、これを下野市全体に広めていって欲しいと思います。
- 皆さんの前にラジオ体操スタンプ帳があります。まずは使っていただけると非常によろしいかと思います。私は、石橋小学校の在校生に計425枚プレゼントしました。校長先生から参加できる方は参加してくださいと声をかけてもらいました。今は寒いので、それほど参加していませんが、石橋小学校から何人か大松山運動公園のラジオ体操に参加しています。今日配布した、「大松山運動公園ラジオ体操同好会のラジオ体操風景」は、NHKで行っているラジオ体操が6時30分から10分間で、気温が2度曇りの日であっても、参加者が18名もいます。常識では、雪で寒い朝に、高齢者がラジオ体操をやるなんて信じられないというのが一般的な常識なのですが、そこは常識を覆すことを楽しく、皆様、朝集まっています。ご挨拶から始まってラジオ体操をやりながらおしゃべりを楽しんでいます。そのことがいいのではないかと思います。雨の日は、石橋図書館のひさしの下でやっています。下野市全域でラジオ体操を広めて欲しいということを市役所にお願いしたいです。また、自治医科大学さんにも協力をお願いしたいと思います。
- (春山会長) 栃木県内で、一番会場が多かったということは大変喜ばしいことだと思いました。私も看護学部で実施できないかと考えました。ただ私の一存だけでは難しいところもあるので検討を始めます。市から資料などをいただいて、是非実現させたいと思います。
- (事務局) 資料4-1、4-2、4-3に基づき説明
- (春山会長) 質問等ございますか。無ければ、その他に入ります。
「健康しもつけ21プラン」の今後の予定をお願いします。
- (事務局) 「健康しもつけ21プラン」の今後の予定、令和6年度の下野市幼児の健康実態調査等、令和7年度次期計画策定について説明
- (春山会長) 時間が長きに渡っているのですが、担当者の方から何かお話ししたいということはありませんか。

(小島委員) 出前講座のことになります。コロナの関係で、回数的には展開されていないというのですが、私ども「おとなの広場」という団体は、参加者が集まって活動しています。来年度の出前講座をどのようにやっていこうかと話をしています。しかし下野市の出前講座の項目が10年くらい全然変わっていない状況です。例えば脳血管疾患の特定のもので実施していただければ、私どもも協力できます。市民ニーズもあり、健康増進と少し違うかもしれないのですが、問題のあるもの、食生活に関する出前講座を実施していただければ、受講したいと思っていますのでよろしくお願いします。

(春山会長) 出前講座、市の方でも考えていただければと思います。
以上で進行をお返ししたいと思います。

4. その他

(事務局) 令和6年度健康福祉部組織再編について、福田健康福祉部長から説明をお願いします。

(事務局) 令和6年度健康福祉部組織再編について説明

(事務局) 他に何かございますか。

(小島委員) 兵庫県明石市の泉房穂前市長ですが、3期12年勤め、子どもに焦点をあてた市政を12年間実施しました。全国の出生率が1.3%なのに対して、明石市は1.62%になっています。前市長は、日本は子どもに対して冷たかった、特にシングルマザーに日本は非常に冷たいと話していました。すべては少子化に繋がるということで、前市長は非常に頑張られ、それを3期12年実施した結果が出たということです。明石市の周辺では子育ての話をしないと選挙に立てないと常識が変わってきたようです。これがなぜ起きたかを知るためには、前市長の泉さんのユーチューブや著書を見ていただくと意味が分かります。皆さんもお忙しいとは思いますが、そこを読んでいただいて、下野市もうまく乗っていくと私は思っています。

(事務局) 貴重なご意見ありがとうございました。参考にさせていただきます。
今回の会議が今年度最終となります。次回の下野市健康づくり推進協議会の開催日は未定です。例年7月に開催をしていますが、要綱の第4条により、委員の皆様の任期が2年と定められておりますので令和6年3月31日をもって任期が満了となります。次回は令和6年度に開催になりますので、各団体の皆様には委員の推薦をお願いいたします。委員の選出につきまして、ご依頼の通知を後日改めて出させていただきますのでよろしくお願いいたします。また、公募委員につきましては、広報3月号に掲載、市のホームページにも募集案内を掲載させていただく予定となっております。こちらは一定の要件はありますが、再任を妨げないものとなっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。委員の皆様におかれましては、これまでの2年間、市の健康づくり活動に熱心にご尽力を賜りまして、この場を借りまして、感謝申し上げます。
以上をもちまして、令和5年度第2回健康づくり推進協議会を閉会いたします。

5. 閉会